

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104860
法人名	医療法人 佑志会
事業所名	グループホーム 花々館郡山
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2157番1 (電話) 099-298-4078
自己評価作成日	平成29年2月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・医療法人を母体としており、24時間を通して医療連携が図れ、緊急時対応の整備も図れている。入居者様の希望に合わせ通院リハビリの支援も出来ている。
- ・毎月の勉強会・法人内研修・外部研修へ参加し専門性を高め質の向上に努めている。
- ・入居者様の個別性・利用者中心・尊厳を意識したサービス提供に努めている。
- ・地域の事業所・地域の方々と協働し、災害や認知症の理解等について情報発信の役割を担っている。又、お互いに支え合う関係性が出来ている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周囲には、市の支所や小・中学校・ショッピングセンターなどがあり、日常の外出で地域の人々とふれあいながら生活できる環境である。
- ・母体医療法人との連携を図り、緊急時の対応などの24時間医療連携体制が整い、通院リハビリの支援など、利用者や家族の安心に繋がっている。
- ・理念を基に毎月目標をたて、達成度を話し合い翌月に活かすなど、管理者と職員は利用者の支援に努めている。
- ・自治会に加入し、回覧板等で情報を共有し、地域コミュニティ協議会の福祉部会で地域の事業者や地域の人々と協働し、災害や認知症についての情報発信の役割を担っている。
- ・管理者は職員を育てることに力を入れ、職員間のコミュニケーションも図り、勤務年数も長く離職者も少ない。家族会の資料などを家族全員に送付するなど配慮し、家族からの信頼も厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を理解し共有し実践できる体制をつくる為に理念を基に毎月目標をつくり、ミーティング時職員全員で達成度・反省等話し合っている。	独自の理念を作成し、玄関やホールに掲げ、便りやパンフレットにも掲載している。理念を基に、毎月目標を立て、ミーティング時に職員全員で達成度や反省点など話し合い、翌月の取り組みに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入することで地域の情報が得やすく、早朝清掃や回覧板のやりとりで地域住民の方々と交流をもつ機会がより増えている。地域の行事（敬老会・地域運動会など）に積極的に参加することで利用者が地域とのつながりを感じながら生活できるよう努めている。また地域の小中学校とも交流を図っている。	地域のコミュニティー協議会で福祉に関する情報発信の役割を担っている。地域の清掃活動や敬老会・運動会には積極的に参加して、地域にとけ込んでいる。ホーム行事の夏祭りにはボランティアの演奏や三味線を弾く等、参加者がある。小学校のベルマーク集めにも協力し、車椅子の贈呈も受けた。中学生の職場体験学習も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	「認知症」についての情報発信の場の役割を担っている。例えば自治会の総会などで認知症の理解や施設での取り組み、敬老会では認知症予防について講和させてもらっている。また地域の中学校から職場体験の受け入れを行い介護職についてや高齢者への支援の方法など情報発信している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は二か月に一回開催し、日々の活動状況・事故報告・勉強会の内容発表等を行っている。年一回は消防職員・駐在員の参加もあり、それぞれの分野の情報や意見を頂きサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の行事や活動状況・事故報告・ヒヤリハット対策等、質問や意見交換を行っている。12月は消防署立ち合いで避難訓練、6月は駐在所の参加があり情報や助言等、意義のある会になっている。土砂災害の研修などを行い、今後の防災に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険事業の円滑な遂行を図るために様々な相談事を各関係機関へ問い合わせ助言を頂いている。特に地域包括支援センターとは地域との取り組みや入居者やサービスに関わる事等、相談・助言頂いている。又、保護課の担当の方とは生活保護や入居に関わる情報交換を行っている。</p>	<p>市担当者には、書類更新の時に窓口に出向き、事業所の実情や取り組みを伝えたり、電話で相談をしてアドバイスを受けて情報交換をしている。運営推進会議を通して協力関係もできている。介護相談員も受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を中心に拘束がもたらす弊害や身体拘束をしないケアの理解と実践についてや倫理や尊厳も合わせ勉強会を行い身体拘束防止の認識を高める取り組みを行っている。又、各利用者ごとに自分たちのケアが拘束・虐待に当たらないか定期的に検討・見直しを行い、尊厳を重視・意識したケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会で、マニュアルに沿って、定期的に勉強会を実施し、対象となる事例検討などで職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束委員会を中心に定期的に虐待について勉強会を行っている。虐待の定義を基に日頃の介助や言葉使い等、虐待にあたらぬか等、又、認知症による行動障害の理解も含め定期的に検討会を行っている。日頃職員との会話の中で些細な変化にも気づけるよう精神的な面でのケアについても意識している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>学習委員を中心に権利擁護が必要とされる背景や権利侵害が疑われる場合の早急な相談の必要性や日常生活自立支援事業や成年後見制度の違い等、勉強会を行い理解を深めている。外部研修にも参加し得られた知識を職員間で共有している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約において、入居者様・ご家族の方が理解・納得できるまで契約書や書類を基にしっかりと説明し理解・納得頂き同意を得ている。又、改定などの際も入居者様・ご家族様にその都度、書面にて理解・納得できるまで説明し同意を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様とは日々の会話を通して意見・要望の把握に努めている。ご家族とは面会時、電話対応時また年一回の家族会にて意見や要望を頂き対応・改善に向け取り組んでいる。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、介護相談員の意見も取り入れている。家族からは面会や家族会などが意見を聞く良い機会となっている。便りやラインでの報告に返信もある。出された意見で、入居者が新聞を購読したいとの要望やノンアルコールを飲みたいとの要望を取り入れ、反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議や日々の申し送り時、又、個別に時には雑談の中から意見を聞き、それを基に検討し業務改善に反映させている。必要に応じて代表者へ繋げている。	日々の申し送りや職員会議・日頃の会話から、職員の意見や提案を聴いている。出された提案や要望で浴室のタイルの補修工事を行う等、意見を運営に反映させている。個人的相談事は個別に聞きアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は定期的にホームへ訪問し、入居者の方々との会話を持つたり職員の業務内容や悩みなどの把握に努めている。年二回の健康診断や予防接種等、職場環境・条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、法人内研修があり、夜勤者・遅出以外の職員全員参加している。外部研修にも交代で参加し、ホーム内でも各委員会による勉強会を行い、質の確保・意識の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内研修や法人グループでの定期的に交流・意見交換できる場を設け、サービスの質の向上に努めている。グループホーム連絡協議会に加入し定期的な研修への参加する等交流の機会を持ち、又、地域のグループホームの勉強会にも参加し、交流を深めサービスの向上に活かしている。他の施設との連携も図れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面接の際、本人様より生活歴や不安に思っている事・希望等、出来るだけお話して頂き、又、ここでの生活等詳しく説明することで不安解消できるよう努めている。入居後すぐは環境の変化等により心身ともに不安になりやすいので入居者様の思いをしっかりと聞き、寄り添い、関わる時間を多く持ち、安心に繋がるよう取り組んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談・情報収集時の際、生活歴・入居に至るまでの状況や家族の思い・要望等をじっくりと聴き、共感する事で安心して頂けるよう努めている。又、ここでの生活等についての説明をしっかりとすることで不安の解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>生活歴や心身の状況・疾患等をよく把握して最優先のサービスが何かを見極め、必要に応じて医療機関や地域ケアマネと連携を図り対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の持っている力を引き出せるように、趣味や興味を持ってそうな事を提供し、又、家事全般を共に行い役割を持ち主体的に生活出来る様、取り組んでいる。又、得意話の中から様々な事を教わりながら、その方の思いに気づき、共感し、支える関係作りを築いている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や電話にて入居者様の日常の様子・状況を報告しご家族の方にも現在の状況を理解して頂き、情報共有に努めている。又、ご家族の方の思いを汲み取り、共感しながら信頼関係作りを努めている。ご家族の方の協力をもらいながら入居者様の支援を共に行い支えあう関係作りを努めている。イベント時にはご家族の方にも参加して頂き共に楽しめるように配慮している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や知人の方々の面会や一緒に外出（時には外泊）する事が入居者様にとって一番の楽しみである事を伝えご家族の協力してもらえるよう働きかけている。又、定期的に馴染みの場所（スーパーや墓参りなど）への外出支援を行っている。</p>	<p>馴染みの人や場所を把握し、親戚や友人知人の訪問の際には、お茶を出して居室でゆっくりしてもらっている。定期的買い物に同行したり、馴染みの美容室へは、訪問や同行支援している。墓参りなど継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で通院や外出・外食等の支援もしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レク活動や家事活動を通して皆が一緒に楽しく過ごせるよう、職員が間に入り、共通の話題を提供し、和やかな場を保てるよう配慮している。出来る方が出来ない方の手伝いをしたり支えあいも利用者同士出来ている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院による退去者がほとんどで退去後も見舞いに行き、本人やご家族との関係を保ち、相談や支援に努めている。又、退去後もご家族に行事の案内を出すことで参加頂いたり、遊びに来られた際は、思い出話をしたりご家族の思いに寄り添っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりや会話の中で得られた気づきや希望・要望等を基に職員全員で検討し情報共有しその人の思いを汲み取り本人の望む生活が送れるよう努めている。意思表示の難しい方も家族も含め定期的にカンファレンスを行い、その人にとってどうする事が一番いいのかを検討している。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。職員も「気づきノート」に言動や気づきを記録し、職員間で共有している。困難な場合は家族の意見を聞き、職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時（時には自宅へ訪問し）本人・家族の方より生活状況や生活歴等の情報収集や担当ケアマネやソーシャルワーカー等による情報収集したうえで入居に繋げている。その人を知る事がその人の望む生活に繋がる事を理解し、入居後も本人・ご家族の方より得た情報を記録に残し情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活パターンや心身状態・出来る事・出来ない事等、記録に残し全職員が確認し変化があればその都度、情報交換を行いサービスの提供内容を振り返り、その時々に応じたサービスがなされるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の記録・気づきの記録や申し送り・毎月のケースカンファレンス・担当者会議などでアセスメントを行い一人ひとりのニーズや状況を見極め、話し合いその人に即した介護計画を作成している。状態が変化した場合はその都度計画の見直しを行っている。</p>	<p>本人・家族の意向を確認し、日々の「気づきノート」を参考に、毎月のケアカンファレンスで個別に観察して、主治医や栄養士・看護師の意見も取り入れ、介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の状態・変化・気づき等はその都度検討し意見を出し合い、記録に残し全職員が必ず目を通し情報共有を図りケアや介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>通院・買物・理美容等は本人の希望に柔軟に対応している。 (通院・理美容に関しては往診や出張美容室利用もしている)。面会時間も家族のその時の状況により柔軟に対応している。通院リハを利用する等、個々のニーズに合わせた対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流（町内会・小中学校）や公共の場の利用・推進会議や避難訓練、又、様々な相談事等、地域の各機関との関わりや協力をもらいながら、行事の時にはボランティアの方々の協力をもらいながら安全に楽しく生活出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に各協力病院の説明を行い、本人・家族より同意を頂いている。通院介助や歯科医等の往診依頼する際は必ず家族に状況説明し同意を頂き受診後は報告を行っている。連携医療機関での定期・急変時の受診など24時間体制で医療連携が図れている。	本人や家族の希望を聞き、母体医療機関がかかりつけ医となっている。緊急時の対応は24時間医療連携体制が整っている。週1回の看護師の訪問で健康管理の連携を図っている。受診は家族の協力を得ている。他科受診は職員が同行し受診結果は家族と共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受信や看護を受けられるように支援している	日常の健康管理を施設看護師とともに行っている。連携医療機関より週一回病院看護師も訪問され日常の健康管理や医療面での相談・助言・対応等を行っている。又、24時間いつでも連絡が取れ、急変時の対応も整っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者様が入院される場合、不安なく納得できるよう説明し、又、家族の方にはすぐ状況報告を行っている。病院へは情報提供を行い入院中も主治医や担当看護師より情報収集し、入居者様へは頻回に面会する事で不安軽減を図るとともに家族へも定期的に状況報告している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時、本人・ご家族様へ「重度化した場合における（看取り）指針」を基に、又、法人内での協力体制が整っている旨の説明し、了承の上、同意を頂いている。その後も重度化や終末期のあり方についての話し合いを行い入居者様・ご家族様の意向の把握に努めている。全職員を対象に「看取り」について主治医や看護師よりの話も含め勉強会を行い理解・知識向上に努めている。</p>	<p>契約時に本人や家族に重度化や終末期における指針を説明して同意を得ている。状況の変化に応じて、何度も主治医や家族・職員と話し合いを重ね、意向の把握に努めている。全職員は看取りについて勉強会を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアル及び緊急時の連絡体制を整え、職員全員が熟知出来るよう定期的に事例を基に勉強会を行っている。又、定期的に応急手当の実技・講習も学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各災害時の避難マニュアルを基に定期的に各々の役割・連絡体制・避難経路について確認・見直しを行っている。消防立会いの避難訓練時には近隣の方々も多数参加していただき終了後は反省も含め意見交換を行っている。ここ最近の他県での各種災害をうけ、市や各機関が主催する防災研修にも積極的に参加し災害に備えている。救急ボランティアの更新を行い毎年職員全員応急手当の講習も受けている。</p>	<p>消防署の指導のもと、年1回昼夜想定で、地域も参加して避難訓練を実施している。自主訓練は毎月夜間想定で行い、通報訓練が主である。校区防災訓練にも参加して避難場所の確認や連絡体制を取っている。スプリンクラーや緊急通報装置・AEDを設置、救急ボランティアに加入している。災害用の水や缶詰・米等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に倫理（尊厳・接遇）の勉強会を行い、特に尊厳については、その人の立場に立ってみて自分たちのケアはどうか話し合い振り返り、改善に繋げている。又、各々のプライバシーを傷つけない・羞恥心に配慮した対応を心掛けている。	マニュアルに沿って事例を出して定期的に勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような態度や言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入室時は必ずノックをし、入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の関わりの中で話しやすい雰囲気作りに心掛け、定期的にここでの生活やしたい事等、希望・嗜好調査等を個別及び集団で聞き、希望に添える様対応している。選んでもらう場面を作る・選ぶのを待つなど、全てにおいて確認しながら自己決定出来る様、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかな流れはあるが入居者様の気持ちを優先して支援している。起床時間や食事時間はその時の気分ですらしたり、レク活動等、無理強いせずしたい方に参加してもらっている。自室でTVを観たり、休んだり一人一人のペースで過ごせる様見守りしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個人の希望により出張美容を頼んだり馴染みの美容院へ出掛けたりしている。毎日着る服や外出時の服装やアクセサリ等、一つ一つ確認しながら選んでもらっている。化粧も毎日される方も何人もおられるので定期的に化粧品の購入も一緒に出掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行い栄養士に伝え、又、栄養士も週二回の訪問時、一人一人聞きながら、希望に添える料理を取り入れている。各々の力量に応じて野菜を切ってもらったり、味見や盛り付けなど一緒に行っている。行事食、花見弁当やそうめん流し等、外食も楽しみの一つである。時には食べたいものを購入し食事時にお出ししている。	栄養士の献立を中心に、利用者の嗜好に配慮したものを工夫している。利用者は調理や盛り付け等、職員と一緒に行って、楽しい食事をしている。4ヶ月毎に嗜好調査を行っている。誕生日の祝いや弁当持参での花見・季節の行事など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人栄養士により栄養バランスのとれた献立を作ってもらっている。食事量や水分量を確認しながら少ない時には必要量が補えるようその人の好きなものを提供したり等配慮している。その人の状態により刻み食やトロミ食などその人に合わせた食事形態で提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけにて見守りや介助をその人の状況に応じて行っている。週二回、義歯消毒を行っている。歯科受診や往診を利用する等、治療を受けられる体制を整えている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の確認、又、その人の仕草や表情を見ながら排泄の声かけ・誘導を行っている。排泄の状況を見ながらパットを外したり、全介助の人も日中はトイレで排できるよう支援している。夜間のおむつ使用時は茶陰洗・清拭を行い清潔を保っている。	排泄パターンや習慣を把握し、さりげなく声かけをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間のおむつ使用時は茶洗浄や清拭で清潔保持に努めている。個々人に合わせて、排泄用品を活用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給やおやつにヨーグルトやサツマイモなど取り入れ、又、体操や腹部マッサージも行っている。なるべく体を動かすよう取り組んでいる。毎日の排便状況を確認しながら緩下剤を服用している人は状況を見ながら主治医の指示のもと調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的に週三回であるが、本人の希望や皮膚の状況により毎日でも対応している。入浴時はその人の希望に合わせて好きな時間に入れるようにしている。入浴を好まれない方へは、無理強いせず時間をずらし声かけしたり翌日に回したりその人に合わせ対応している。	週3回の入浴を行っている。体調や希望にそって柔軟に対応している。必要に応じて機械浴を利用している。入浴を嫌がる利用者には無理のないように、人を変えたり、時間をおいて声かけして状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し生活のリズムを整えるよう努めている。その人の体調や習慣により昼寝をしたりフロアでくつろいだり、又、夕食後居室に帰る・TVを観る・おしゃべりする等各々の過ごし方が出来るよう支援している。寝付けないときは温かい飲み物を飲みながら一緒に話したりと配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書は薬箱と一緒に置いてありいつでも確認できるようにしている。処方日は職員全員が薬情書の確認を行っている。カンファレンス時、個々の服用している薬について話し合い理解を深め、特に薬の変更・追加時は身体状況や症状の変化等の確認・観察を行っている。投薬ミスがないよう幾重にも確認しあい飲み込み・飲みこぼしがいかまで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の出来る事や経験を活かし家事や縫物・編み物等、役割を感じてもらい一日を楽しく過ごせるよう支援している。時には外食したり、好きな食べ物・飲み物を購入したりして楽しめるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その都度、希望に沿った外出支援（買い物・図書館等）を行っている。家族との外出・季節ごとの催し（花見・ソーメン流し・外食等）や地域の催しものに出かけ、家族・地域の方々の協力を得られている。</p>	<p>日常的には周辺を散歩したり、個々人の希望で、買い物や図書館・ドライブで自宅付近に出かけたりしている。計画を立てて、地域の行事や花見・ソーメン流し等に出かけている。家族の協力で外泊や外出・外食・理美容院利用・墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんどの方はホームの金庫にお預かりし月初めに収支報告を家族に行っている。お金を持つことで安心される方は家族の理解のもと少額を持って頂いており収支の把握を職員と一緒にに行っている。買い物に行った際は預かり金や本人持ちのお金で職員と一緒に支払いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様がかけたいときに電話をかけられるよう支援している。携帯電話をもっている入居者様もおられ、自分で定期的に家族へかけておられる。お届け物や手紙を頂いた時はお礼の電話を一緒に入れたり手紙を一緒にかいたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は季節を感じてもらえるよう四季にあわせ装飾を変えている。TVのボリュームや職員の声・台所の音など不快に感じないように注意している。カーテンやよしずを使用し光の調節も行っている。一日の中で時間を決め湿度・温度を確認し、適温になるよう調節している。特に冬場は濡れたバスタオルをかける・モップ掛けする等、湿度に注意している。</p>	<p>フロアは照明が柔らかく、換気・温度・湿度に配慮している。職員と一緒に作った季節の飾りがある。ウッドデッキは、広くて外の景色が一望でき気持ちがいい。ソファが多くあり好みの場所で、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにて話をしたりTVを観たり思い思いに過ごされ、居室でも一人の時間を大切に出来るよう見守りを行っている。気の合った入居者様同士お互いの居室を行き来し、話されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様の使い慣れた家具や仏壇を持ち込んでもらい安心感に繋がっている。読書の好きな方は居室に多くの本をもってこられ、又、編み物の好きな人は道具を持ってこられ、職員のもってきたりして趣味を楽しみながら居心地良く過ごせるよう支援している。</p>	<p>居室はエアコンやベッド・タンスが備え付けで、寝具はレンタルである。テレビやテーブル・衣装ケース・位牌・時計・花・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものを持ち込み、外の景色が見えて四季を感じることができる。和室対応の部屋もあり安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行器やシルバーカー使用・杖歩行の方々がおり、歩行の障害となるものを置かない、又、他者にあたらない等、一人一人の状況に合わせてながら移動・移乗時は十分に注意を払っている。風呂場やトイレなど、目印となるものを掲げスムーズに移動できるよう工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない